

教科	公民	科目	政治・経済	学年	第3学年	講座	
単位数	3単位	教科書	高等学校改訂版政治・経済（第一学習社）				
副教材	・最新図説政経（浜島書店） ・ニュース検定発展版（毎日新聞出版）						

学習目標	(1) 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治・経済・国際関係等について客観的に理解させる。 (2) 現代における政治・経済・国際関係等に関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
------	--

		学習計画及び内容	考査	
1 学 期	4月	1-1 民主社会の原理と日本国憲法・・・ 立憲主義の原理と広がり、日本国憲法で保障されている基本的人権（平等権・自由権・社会権・参政権・国務請求権・新しい人権）	第1回考査	
	5月			
	6月	1-2 日本の政治機構と政治参加・・・ 国民主権と三権分立、国会・内閣・裁判所の役割、世界の政治体制、地方自治の役割、政党政治とマスメディア、平和主義と自衛隊、日本の安全保障		第2回考査
	7月			
2 学 期	8月	(夏休み課題)	第3回考査	
	9月	2-1 市場経済のしくみ・・・ 市場経済の考え方、市場の限界、経済の大きさと変動、企業の役割、産業構造の変化、中小企業と農業の問題、金融の役割、財政の役割と課題		
	10月			
	11月	2-2 豊かな社会の実現をめざして・・・ 公害対策と環境保全、自立した消費者へ、労働者の権利と労働問題、社会保障の考え方		
	12月	3-1 国際経済の動向と貧困の解消・・・ 国際経済のしくみと枠組み、進む地域経済統合とその課題、グローバル化した経済、経済格差と南北問題、経済援助と貧困の解消		
3 学 期	1月	3-2 国際政治の動向と平和の追及・・・ 国際社会における国家、戦後の国際政治、現代における紛争、国連の役割と課題、核兵器と軍縮、世界的な人権保障の動き、国際協力と日本の課題	第5回考査	

学習の方法	[授業前] 忘れ物をしないことが一番であるが、した場合の挽回の姿勢を見せること。 [授業中] 学習内容を単語で暗記しようとせず、流れを理解し、構造化することで知識の定着を図ろうとすること。 [授業後] 知識を定着させるため、復習を重視する。復習の仕方は、一問一答形式ではなく、図や絵などを利用した自分なりのまとめノートを作ることが望ましい。
-------	--

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代社会における様々な出来事や、人間の生き方などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとする。	現代社会が抱える課題を見出し、多面的・多角的に考察して、自らの意見を適切に表現している。	様々な情報をメディアを通して収集し、得た情報の公正さについて十分に検討した上で、効果的に活用している。	知識・概念などについて理解し、その知識を身に付けている。

備考	
----	--